

佐久市立中学校の運動・文化部活動の 地域移行に向けたアンケート調査結果

1 調査対象

- (1) 小学5・6年生
- (2) 中学1・2年生
- (3) 小学5・6年生 保護者
- (4) 中学1・2年生 保護者
- (5) 教職員

2 調査期間

令和6年1月12日（金）～2月9日（金）

3 回答率

75%（対象数6,888名、回答数5,167名）

4 調査方法

Web（QRコード・URLの配信）を利用したアンケート調査及び回収

5 調査実施主体

佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
（佐久市立中学校運動部活動の地域移行協議会 事務局）

令和6年3月 佐久市教育委員会スポーツ課



アンケート調査の結果を分析。見えてきたポイント「**8割**」から結果を読み解く。

1 部活動の地域移行を知っていますか？

【P 5】

- ◇中学生・小学生保護者と比べ、中学生保護者が最も地域移行について認知、**約8割**が「知っている」または「どちらかといえば知っている」と回答。
- ◇中学生の4割弱は地域移行後のクラブ活動に参加を希望する一方、どう考えていいか判断に迷っている回答も約3割ある。

➤➤➤ 周知が足りていない状況が判明。
今後、**部会**などで対話を通じて情報を共有していくことが重要。

3 地域移行後に保護者が協力できる負担の範囲は？

【P 7】

- ◇月謝会費は、**8割以上**が5千円程度までと回答。
約半数は千円～3千円程度で最多の回答数。
- ◇**約8割**が送迎は可能（片道30分程度まで）。
送迎できない理由は、仕事が約6割。

➤➤➤ 保護者負担については一定の理解を得られると想定されるが、競技・活動の実態に即した**持続可能な体制**を整備していくことが求められる。

2 今後の活動希望の状況は？

【P 4～6】

- ◇部活動に所属している回答者のうち、**約8割**は活動が継続できるなら合同部活動を希望。
- ◇バドミントンなど、部活動にはない競技を希望する声も多い。

➤➤➤ 希望する活動機会の確保のため、**人材バンク**を活用した指導者確保・活動環境の整備は重要課題。

4 教職員の指導希望状況は？

【P 9～10】

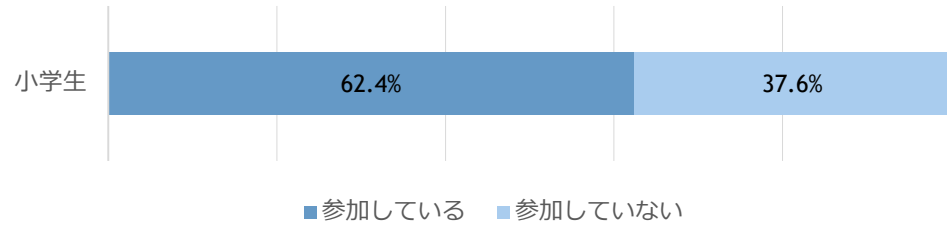
- ◇教職員のうち、部活動の地域移行後に指導を希望しない割合は**約8割**に上る。
- ◇平日・休日問わず、部活動に長時間従事。約6割が未経験の競技・種目を指導しており、負担に感じている。

➤➤➤ 地域移行後はこれまで以上に指導者不足が懸念される。希望に沿えるよう、**人材バンク**を活用し指導者を確保していく。

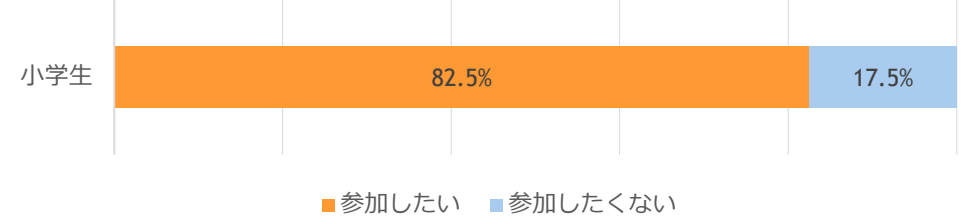
クラブ活動の参加状況、部活動について【小学生】



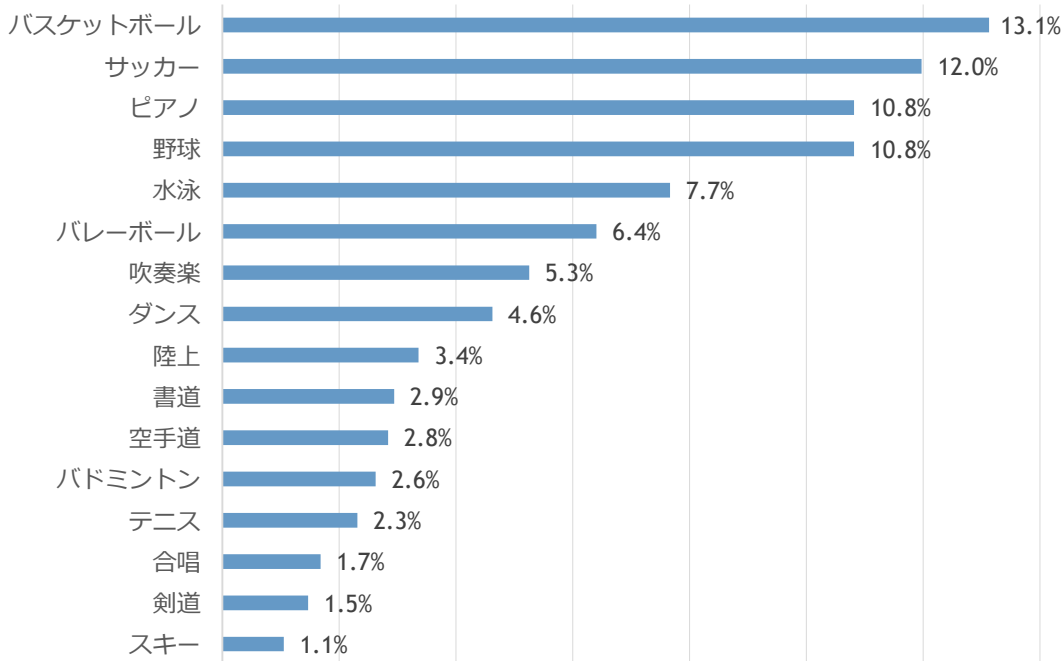
① スポーツや音楽などのクラブ活動への参加状況



③ 部活動への参加希望状況

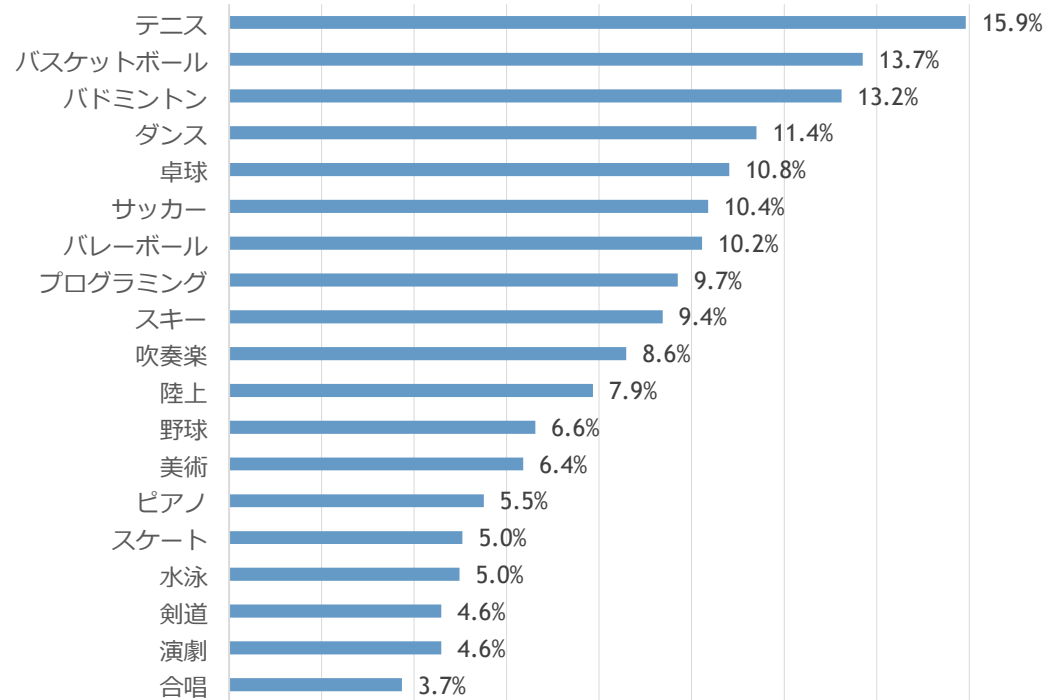


② クラブ活動への参加状況



※そのほかの回答は、新体操、バレエ、柔道、卓球 などがあつた

④ 部活動で希望する活動の種類



※そのほかの回答は、新体操、書道、空手道、太鼓 などがあつた

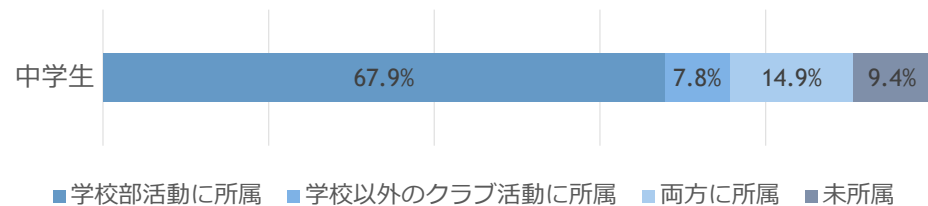
Point

- **8割以上**が部活動参加を希望しているが、現在活動している競技・活動が中学校部活動にないことで接続とならず、中学入学時に見直しをせざるを得ない児童が多い。
- 現在の部活動の種類・体制では希望に対応できない状況、活動環境整備を検討していく必要がある。

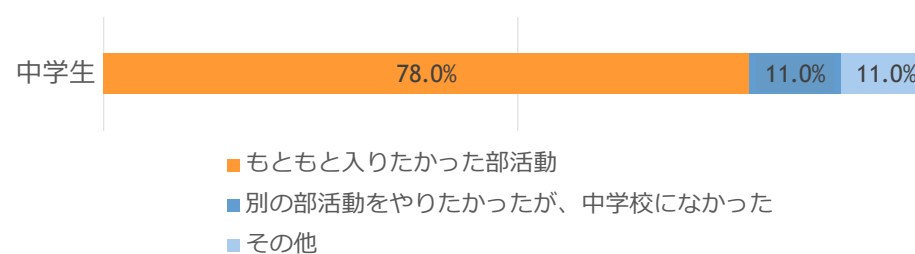
部活動／クラブ活動への所属状況等について【中学生】



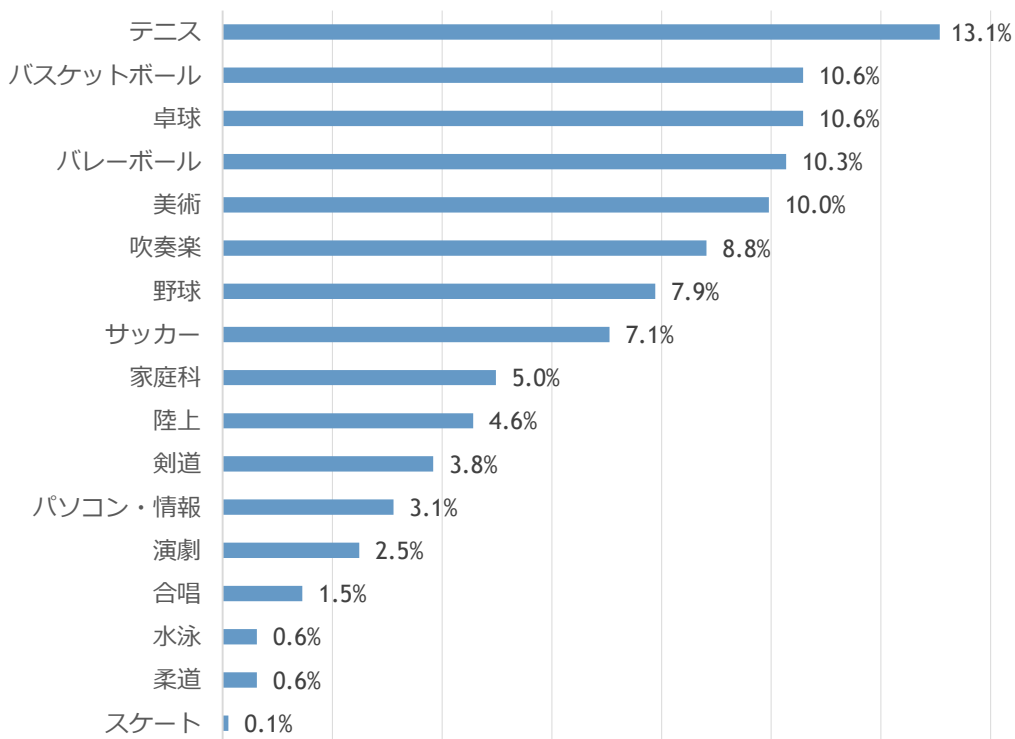
① 部活動、スポーツや音楽などのクラブ活動への参加状況



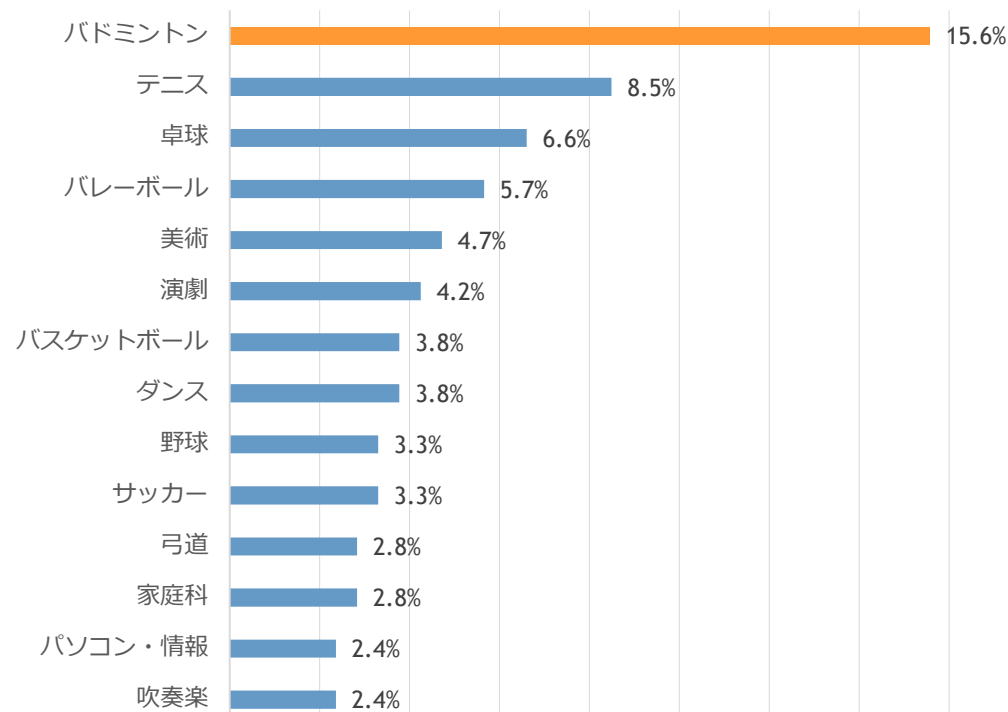
③ 所属部活動は、希望していた活動か？



② 部活動の所属状況



④ 本来やりたかった部活動は？



※そのほかの回答は、水泳、軽音、剣道、陸上 などがあった

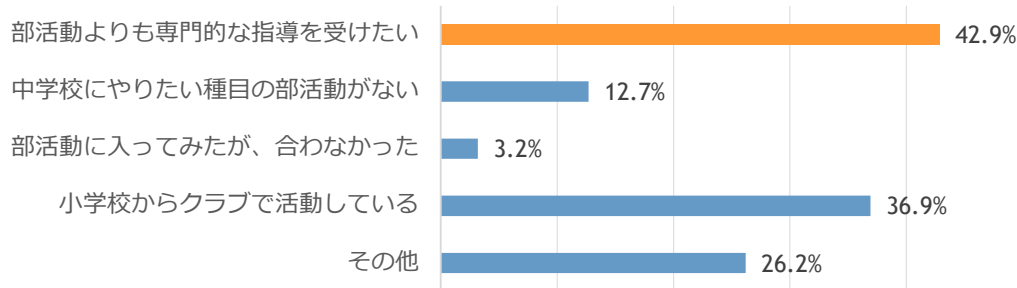
Point

- 希望どおり部活動に所属している生徒は約8割であり、生徒の希望は一定程度対応できている。
- 希望どおりではないとの回答者からは「バドミントン」を希望する件数が最多である。

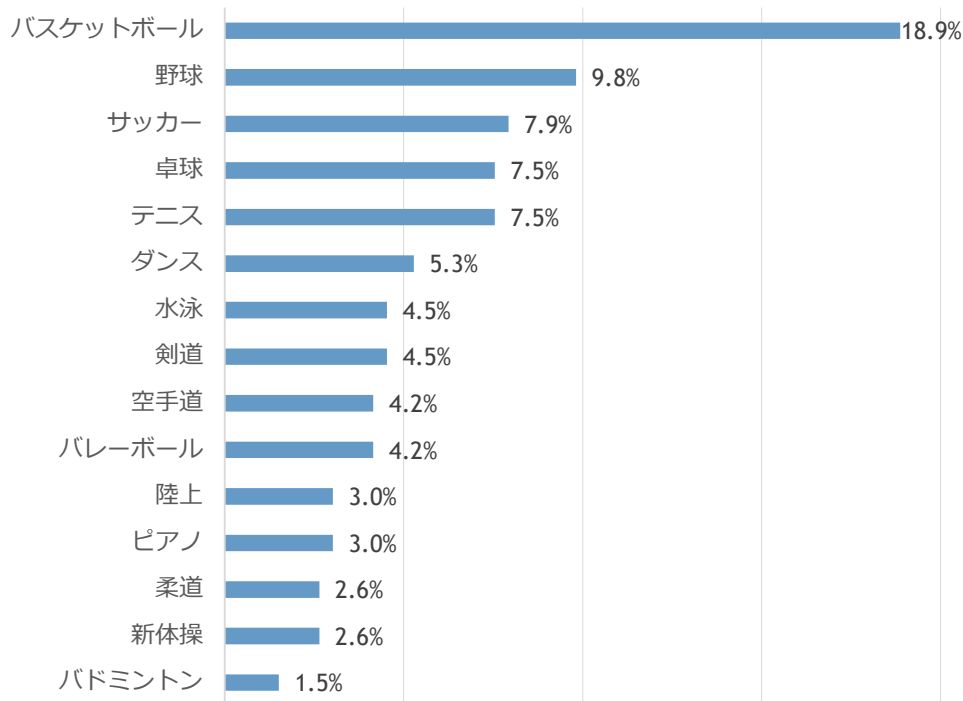
クラブ活動への所属状況／未所属／合同部活動について【中学生】



① クラブ活動に所属している理由

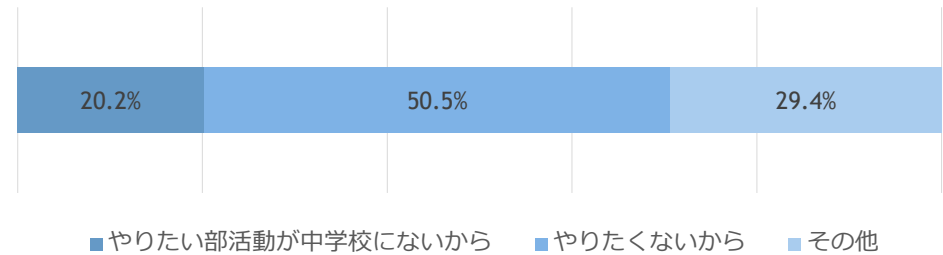


② クラブ活動への所属状況

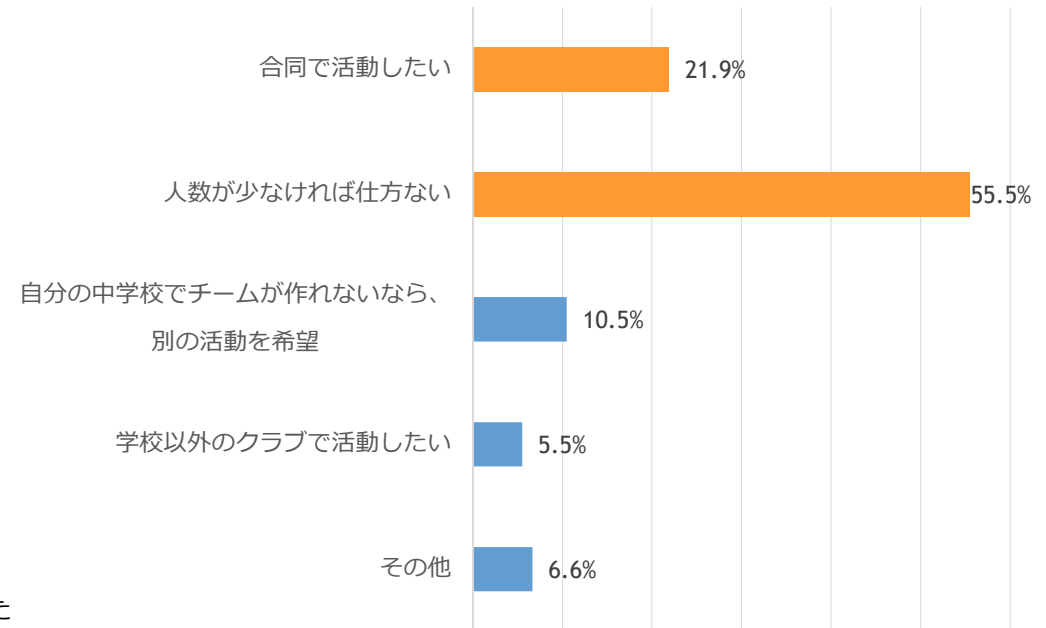


※そのほかの回答は、少林寺拳法、書道、バレエ、合唱 などがあった

③ 部活動にもクラブ活動にも参加していない理由



④ 部員が減少している中、複数校の合同部活動をどう考えているか？ (合同部活動により活動が継続できると想定)



Point

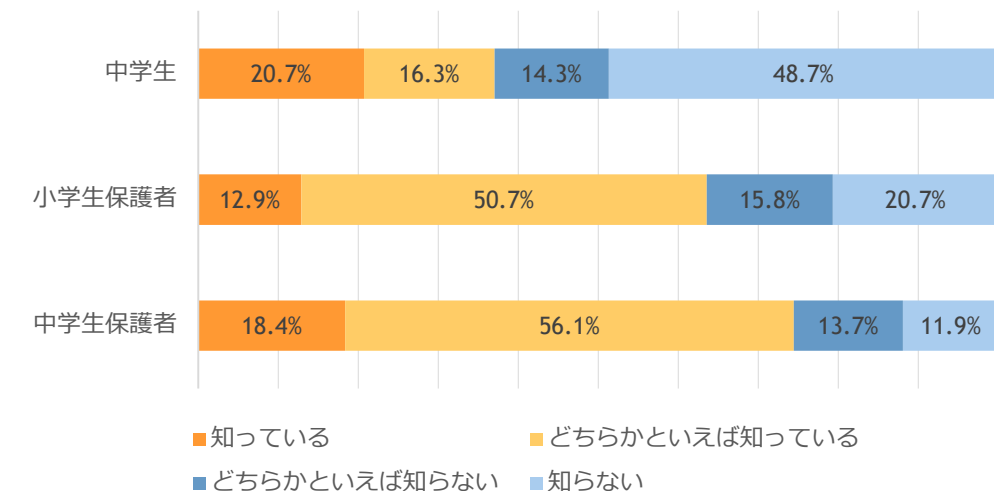
○クラブ活動に所属する理由は「専門的な指導を受けたい」が最も多く、バスケットボール等の小学生の頃から継続している競技が多い。

○合同部活動に肯定的な意見は約8割と、部活動の継続を望む声が多かった。

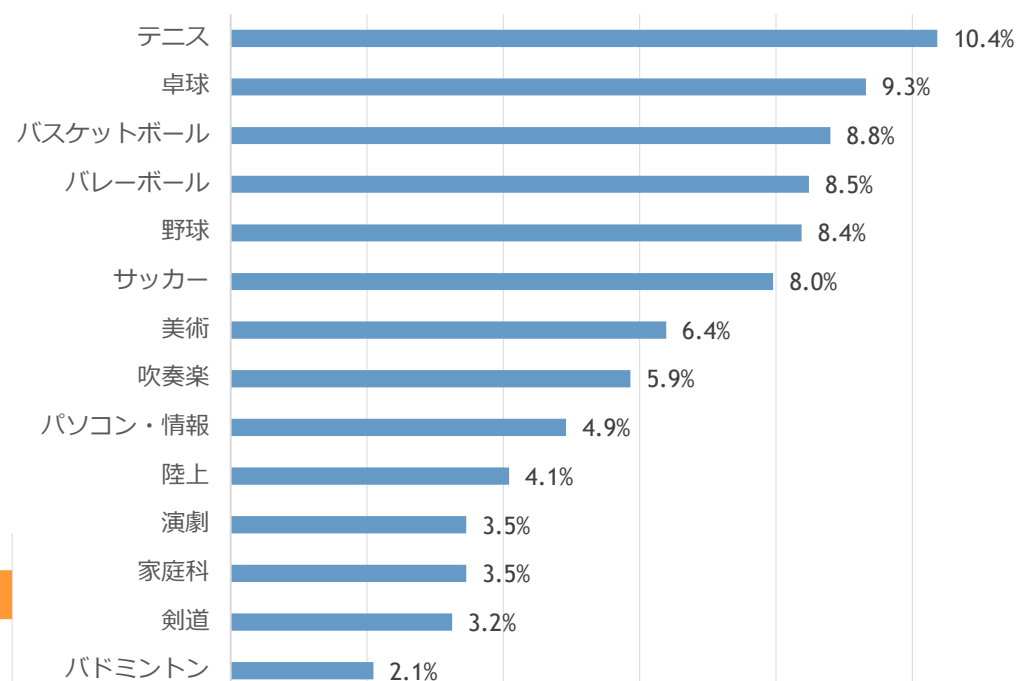
部活動の地域移行について【中学生・保護者】



① 部活動の地域移行を知っていますか？

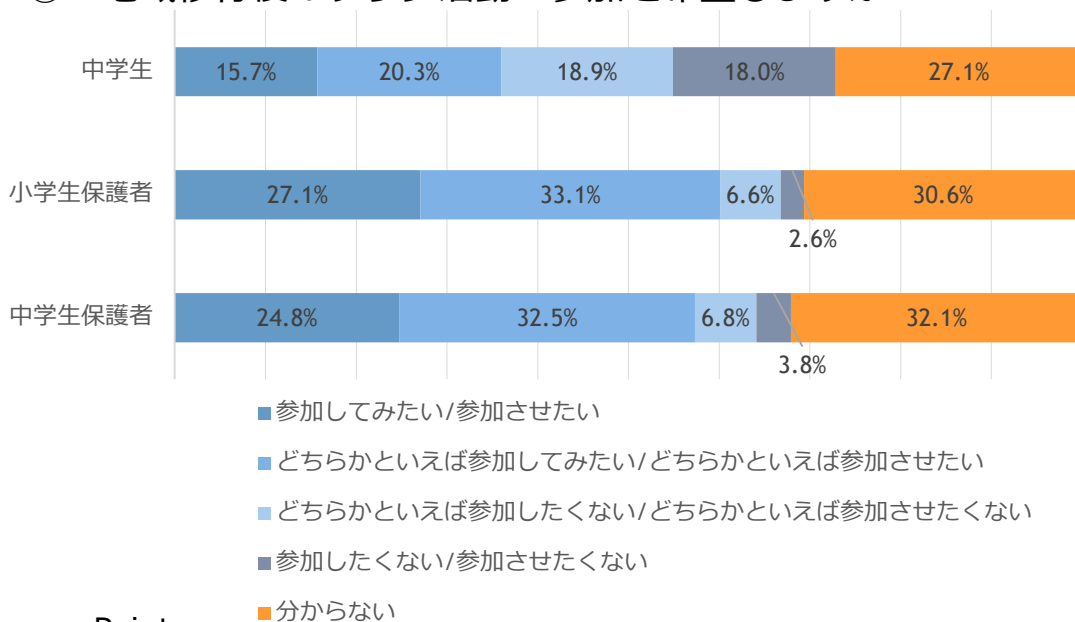


③ 地域移行後のクラブ活動に希望する競技・活動【中学生回答】

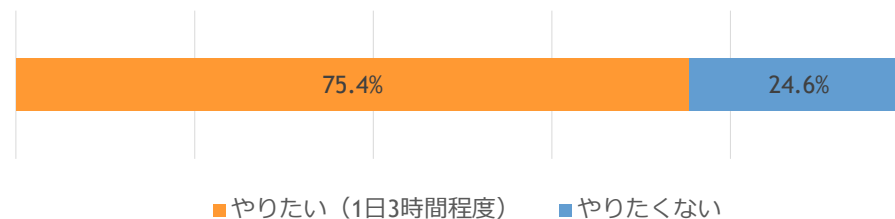


※そのほかの回答は、合唱、水泳、ダンス、柔道 などがあった

② 地域移行後のクラブ活動へ参加を希望しますか？



④ 休日にも活動を希望しますか？【中学生回答】



Point

○部活動の地域移行について、中学生が最も認知度が低かった。

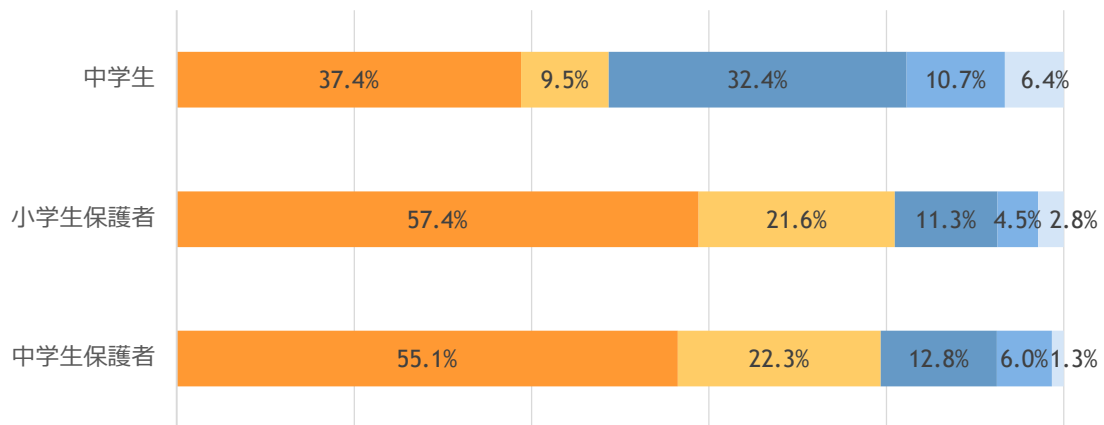
参加希望では「分からない」との回答が3割程度確認され、情報不足による迷い・不安が垣間見える。

○約8割の生徒が、休日にも活動したいと回答。

部活動の地域移行について【中学生・保護者】

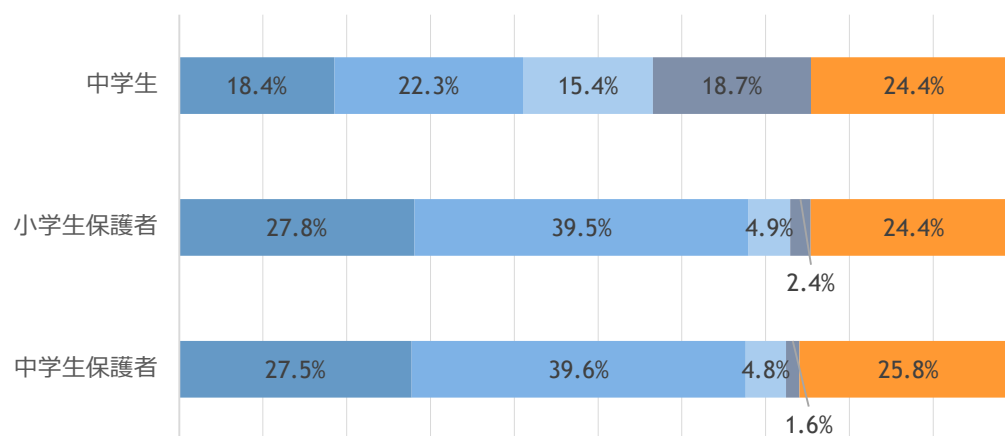


① 地域移行後には、指導は誰にお願いしたいですか？



- 専門的な技能や知識・資格を持った指導者
- 指導する活動の経験がある地域の大人や社会人等
- 平日に所属している部活動の指導者
- 同じ部活動を指導する近隣の中学校や高校の先生
- 小学校の時に教えてもらっていた指導者

② 【休日部活動】自分が通う中学校以外で活動することもあります。合同部活動により活動を継続できる場合、参加したいですか？



- 参加してみたい/参加させたい
- どちらかといえば参加してみたい/どちらかといえば参加させたい
- どちらかといえば参加したくない/どちらかといえば参加させたくない
- 参加したくない/参加させたくない
- 分からない

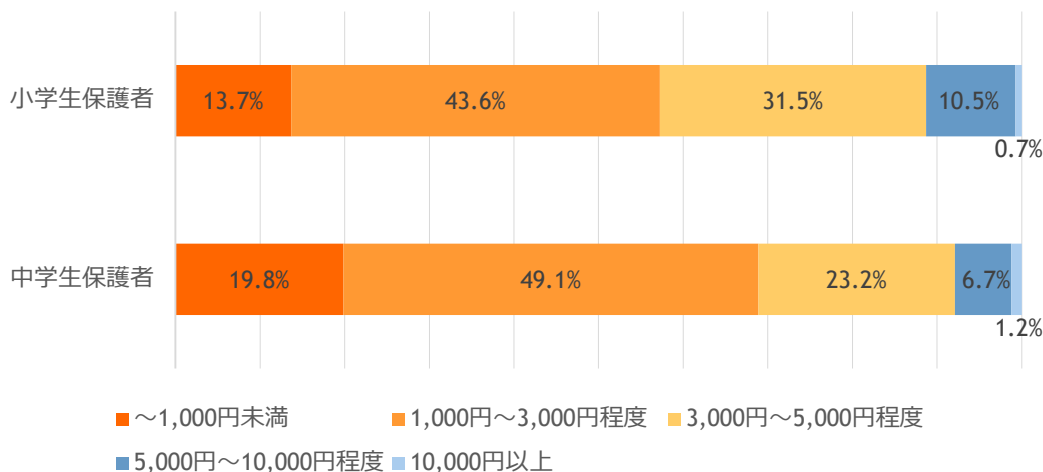
Point

- 地域移行時の指導者には、「専門性」を求める声が多かった。「活動経験」のある指導者を合わせると保護者については**約8割**となり、費用負担が発生するのであれば、より専門的・高度な指導を求める傾向がある。
- 合同部活動への参加については、「分からない」が一定数あり、情報不足が一因であることが想定される。

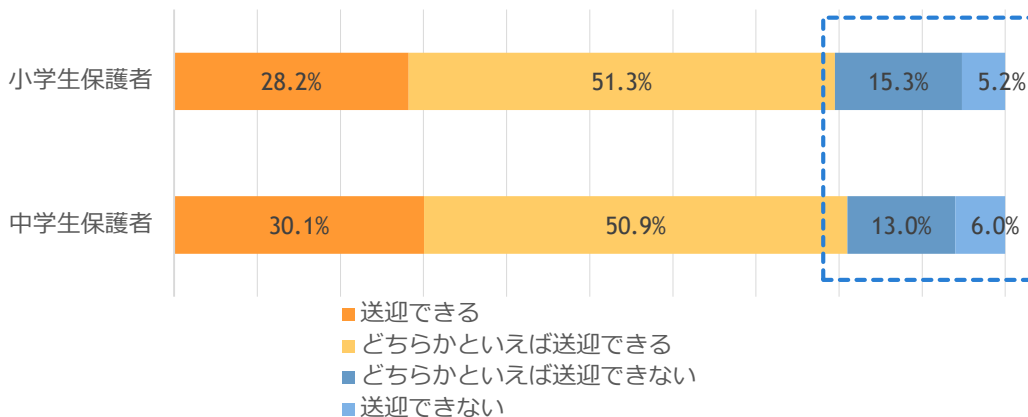
部活動の地域移行について【保護者】



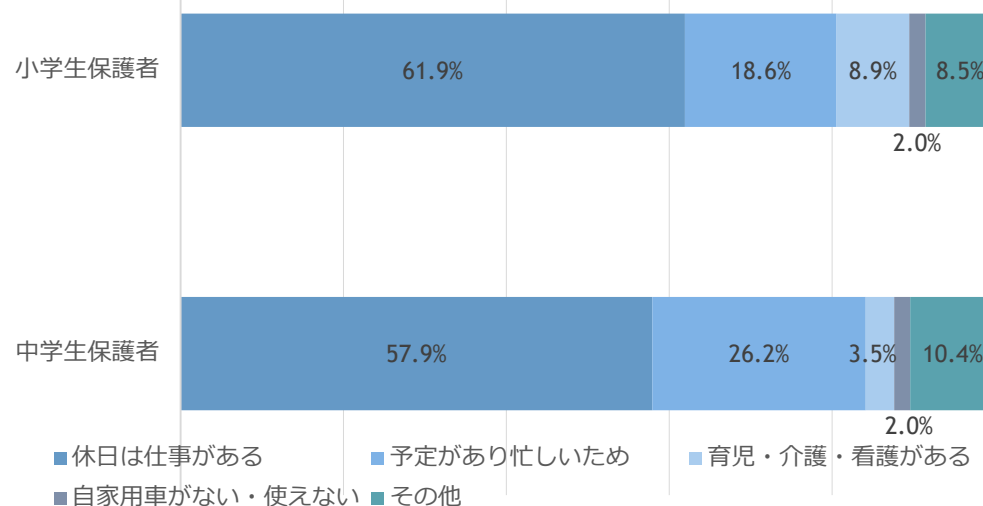
① 休日の活動が地域主体のクラブ活動へ移行した時、許容できる月謝会費はいくらまでですか？



② 休日部活動の会場が学区外の場合でも送迎できますか？
(片道30分程度の場合を想定)



③ 送迎できない場合の理由



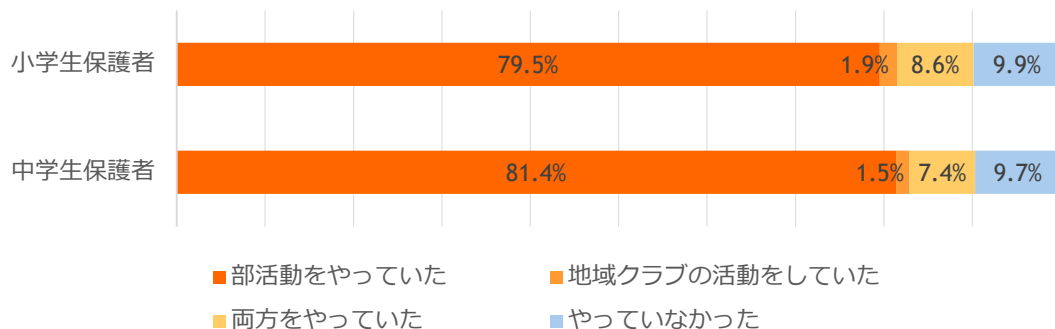
Point

○地域移行時の保護者負担について確認したところ、月謝については約6割は3,000円程度まで、約9割は5,000円程度までの負担が可能との回答であった。また送迎については、約8割から30分以内であれば可能という回答を得ており、一定の負担についてはご理解をいただけると考える。

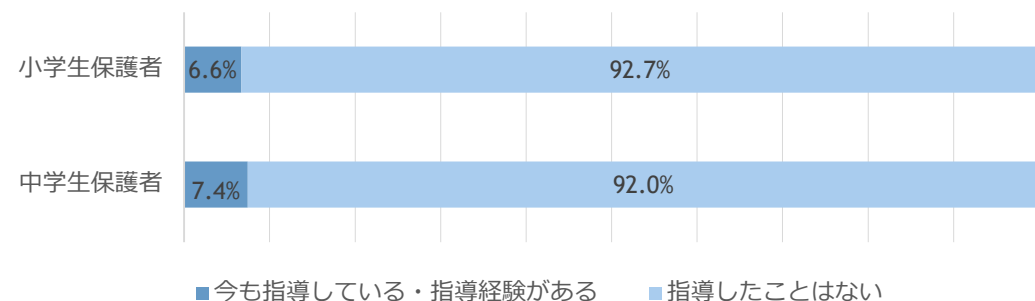
経験・指導について【保護者】



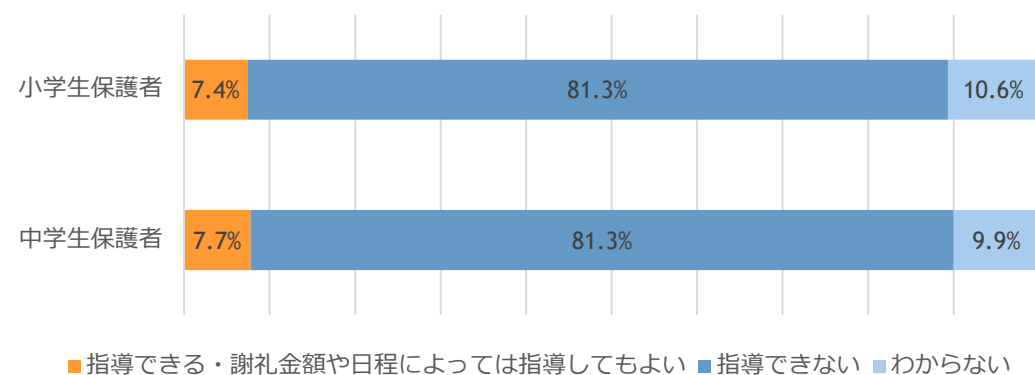
① 部活動等の経験はありますか？



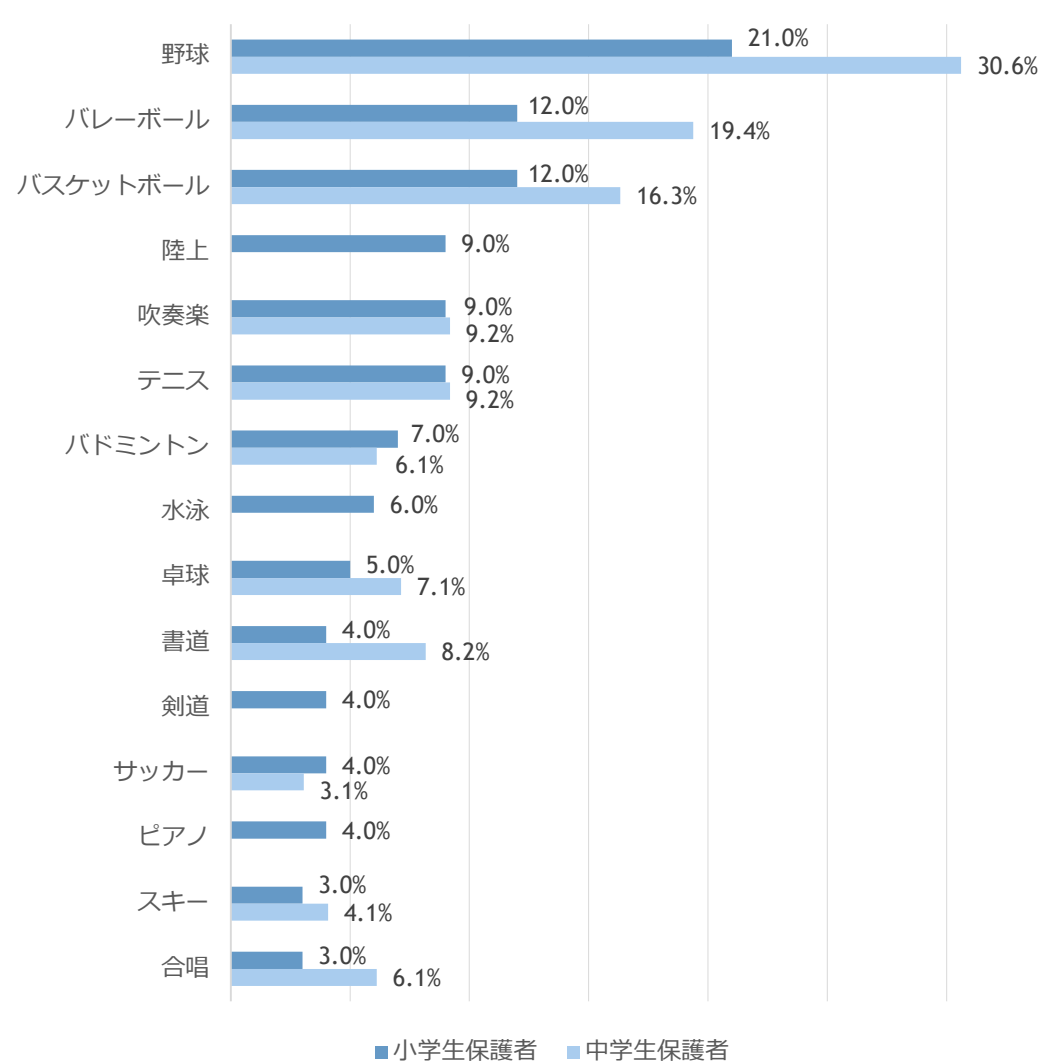
② 指導の経験はありますか？



③ 地域移行後、指導者になることができますか？



④ 指導できる活動の種類



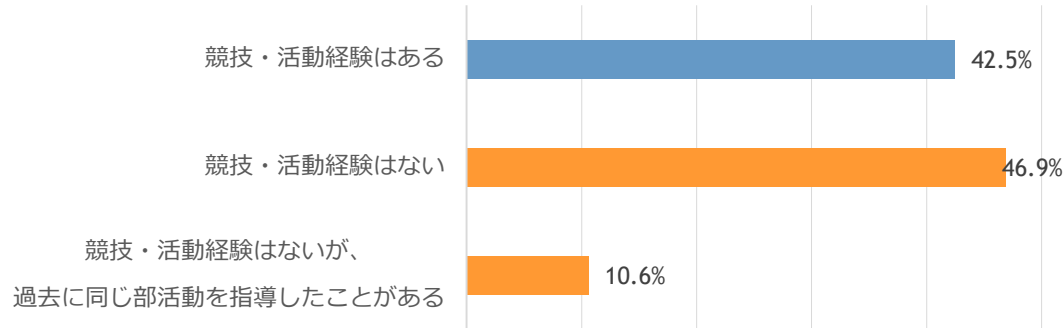
※そのほかの回答は、演劇、ダンス、柔道 などがあつた

Point

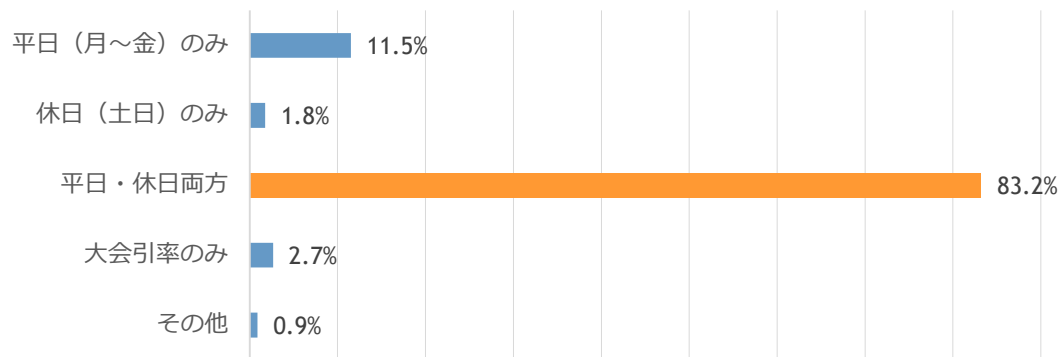
- 保護者の約9割が、部活動・地域クラブの活動経験がある。
- 地域移行後に指導者になり得る回答者は1割に満たない。保護者からの指導者確保は難しい。



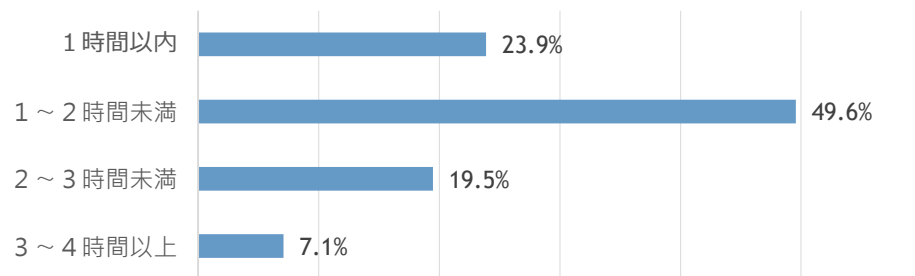
① 顧問を持つ部活動の活動経験



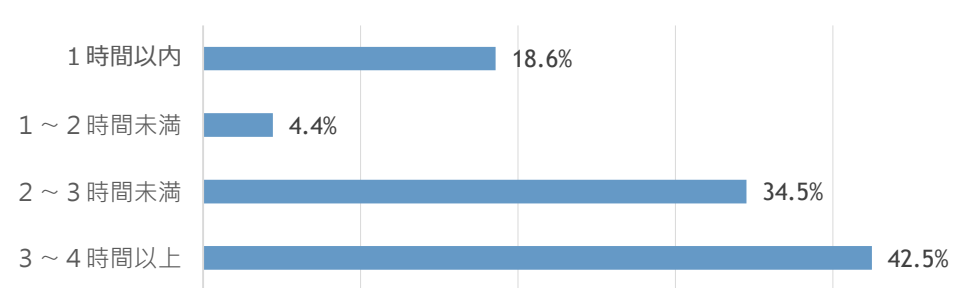
② 活動日について



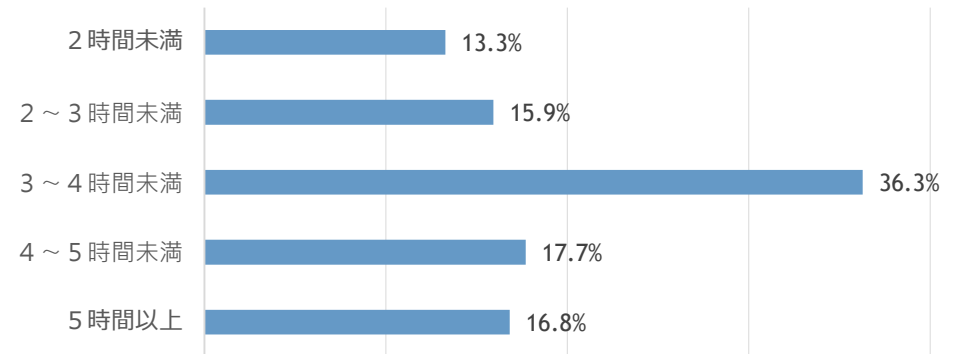
③ 平日の部活動指導にかかる時間



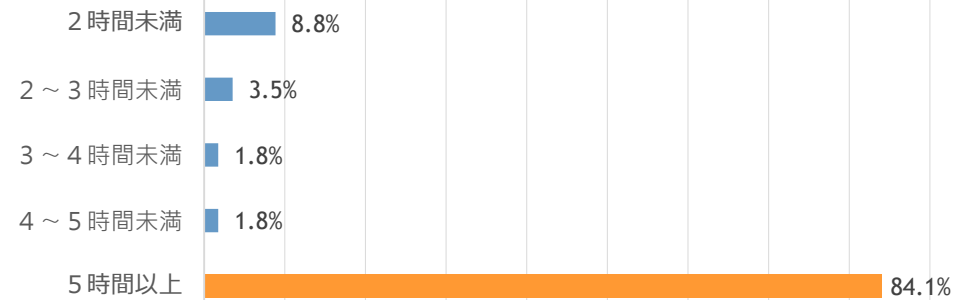
④ 休日の部活動指導にかかる時間



⑤ 休日の1回の練習試合やイベント等の従事時間



⑥ 休日の1回の大会やコンクール等の従事時間



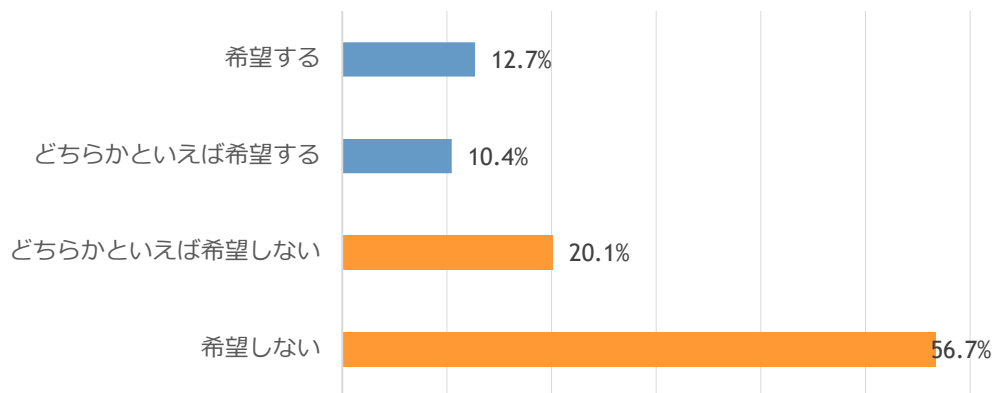
Point

○約6割の教職員が未経験の活動を指導している。

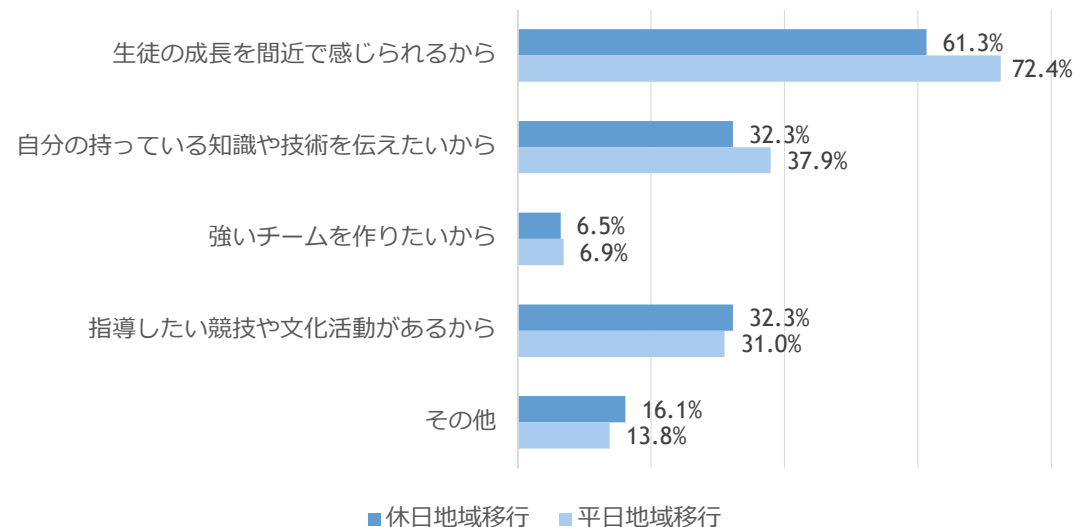
○約8割が平日休日ともに部活動に従事、特に休日においては長時間指導しており負担が大きい状況が確認された。



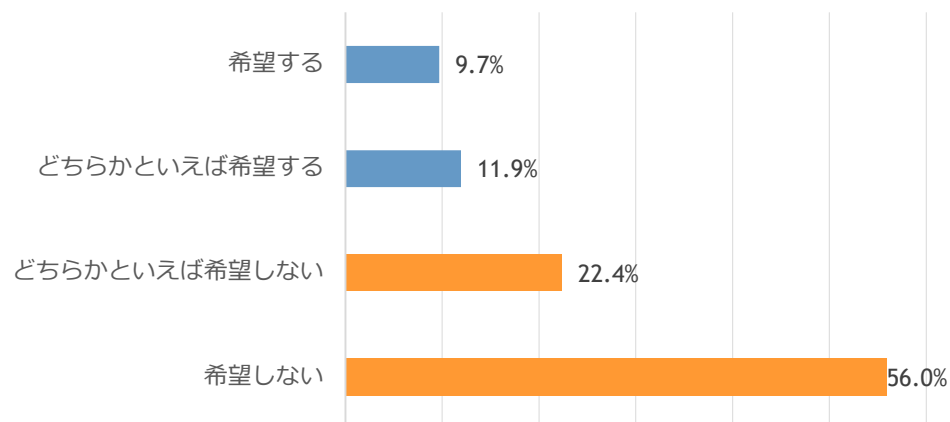
① 休日部活動の地域移行後の指導希望



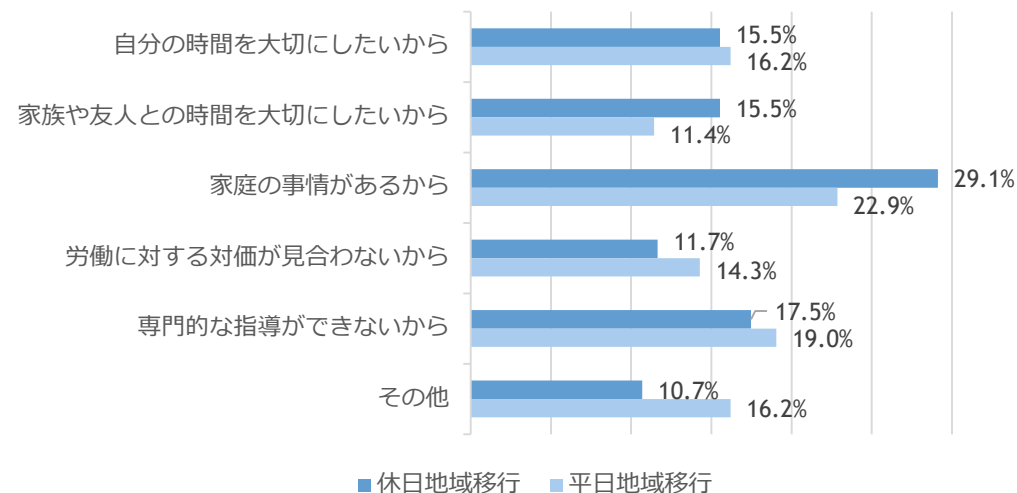
③ 地域移行後に、指導を希望する理由



② 平日部活動の地域移行後の指導希望



④ 地域移行後に、指導を希望しない理由



Point

- 教職員の**約8割**が、地域移行後の指導を希望していない。地域移行に向け、地域の受皿団体・指導者の確保が重要。
- 指導を希望する理由の最多は「生徒の成長を間近で感じられる」、また希望しない理由の最多は「家庭の事情」。

保護者の声【小学生保護者】（自由記述に寄せられた意見を抜粋）

【① 保護者負担について】

- 休日部活や運動部は試合等があり、保護者の送迎に負担が大きい。地域移行になると保護者の負担として送迎、月謝など他の問題も増えると思う。保護者が手伝う体制もやめてもらいたい。
- 部活はバス通学のため送迎がありがたい。地域移行後、送迎・他校との保護者会、親の負担が大きいと推測。現在の社会体育の時間だと、活動させたくても戸惑う。
- 休日も仕事をしている保護者の負担を考えると、やらせたい事が出来ない環境は避けてほしい。
- 中学校の部活を選ぶ理由は自分で移動ができる範囲の活動が多いからです。
平日も保護者の送迎が必要となると参加が難しいです。
- 指導者が専門資格のあるクラブチームなら月謝は考えられるが、部活動の延長という内容での月謝は考えられない。

【② 指導者確保について】

- 子供達に選択肢を持たせつつ、顧問の負担を減らし、専門的な知識と経験のある指導者に担当してもらえるようにしてほしい。
- 指導者が複数いても、みんなそれぞれの指導のやり方が違うと混乱する。長く続けてくれる指導者の方が有難い。コロコロ変わるのは困る。
- 地域の指導者が選ばれるプロセス、指導者の資質が心配。特定のチームの指導者が地域移行の指導者になった場合、メンバーのえこひいきが発生しないか心配。
- 学校部活では外部コーチが入り、主に休日は外部コーチが指導している。専門的だが、熱が入り過ぎており外部コーチが所属している社会人のクラブの練習(平日夜間)にも参加するよう勧めたり、対応に苦慮します。
- 適切に運営、活動できているか、チェックする仕組みが必要ではないかと思う。
- 学校はどの程度関わってくるのか？外部に頼む場合、指導してくれる人の素性等は確かなのか？

【③ 情報提供について】

- 移行の情報がない、子供達自身も不安になっている。
- 地域移行というものが今までとどう違うのか、説明会等あるのか、情報をどこから入手すれば良いのか教えて欲しい。地域移行にするメリット、デメリットや、保護者の介入がどこまで必要なのか、子どもが満足に指導を受けられるのか知りたいです。
- 部活動地域移行の情報や、中学入学に向けてどんな準備や移行方法がとられるのかなど、最新の情報を得られる機会が欲しい。

【④ 部活動は現状維持/休日の部活動不要】

- 学校の様子、勉強の様子を配慮した上での部活動レベルにしてもらえるのが、子供にとっても負担にならず、親としての希望。
- 学校の先生に見てもらえたほうが安心する。大会に向けてしっかり練習が出来る。
- 部活動は課外活動だから意味がある。現状維持でよい。地域移行は反対。複数校の合同で先生同士が協力すればよい。
- 学校の先生が部活の指導者を兼任するのは止めるべきだが、活動内容は指導者と情報共有して生徒の教育指導をお願いしたい。
- 家族の時間も必要なので個人的には休日に部活は不要。
- 地域移行してまで休日に部活をしなくてもよい。学校の部活以外にやりたいことをやればよい。

【⑤ その他】

- 現状の部活動では選択肢が少な過ぎて子供達が本当にやりたい活動が出来ていない。早くに地域移行をして、本当にやりたい競技を楽しめる環境を望む。
- ワークショップや検討委員など立ち上げ、そこへ保護者(希望者)が参加できるような取組があったら有難いです。
- 何をさせたいかの前に、地域主体のクラブが信頼できる機関であるという安心感が欲しい。
- 民間の方のお世話になることは基本的に賛成ですが、指導者と保護者の方向性が違いすぎることもある。地域クラブやその指導者になる条件等が見えれば、保護者が判断しやすくなると思います。

保護者の声【中学生保護者】（自由記述に寄せられた意見を抜粋）

【① 保護者負担について】

- 地域的に交通手段がなく学校以外で部活を続けていくには親の負担が大きすぎる。
- 夫婦共に休日は仕事で今も送迎は大変。自分で行けない範囲が広がると大変。送迎ができなくて我慢させている活動もある。
- 通学はスクールバスを利用中。地域移行後、保護者の送迎が必要になるのであれば、保護者の負担は大きい。平日の部活時間も現在の社会体育のように遅くまでの練習時間が出るのは心配。
- 共働きで週末も仕事で部活動の送迎に苦勞。自校練習時にのみ自転車使用が認められているが、近隣中学への練習・試合に出向く際にも自転車や電車移動を許可して欲しい。または費用を徴収して中学からバスを出してほしい。
- 学校管轄外の場所だと今より保護者の負担増。そこまでしてやらせるべきか悩ましいです。学校だと安心出来ることが多い。

【② 指導者確保について】

- 部活動は技術指導だけではない。勝利至上主義になり過ぎないで欲しい。経験者がよい指導者と限らない。指導者育成がとても大切だ。
- 指導者は、安心して子ども任せられるようきちんと専門知識を持ち指導者として相応しい方をお願いしたい。
- 心的、身体的な体罰やハラスメントが起こらない様な、仕組みをしっかりと作って欲しい。
- 競技経験があるだけではなく、専門的に学んだ人をお願いできるなら、移行する意味がある。学校から管轄が外れると、コーチのやりたいがままになる。
- 一般の人が指導者だと資質に不安。性的な関心を子どもに持つ人、または指導するうちに芽生える人もいる。指導者は1人ではなく複数人にし、しかも男女混合にするなどの工夫がかかせない。

【③ 情報提供について】

- 地域移行で今後お世話になるクラブ等への説明がなさ過ぎる。少子化に伴う地域移行は仕方ないが、先生の働き方改革に伴うことなら納得いかない。
- 地域移行に関する情報や市としての方針など保護者が知る事ができる情報が少なすぎる。早めに行政、学校側で方針を出してほしい。
- 各家庭にしつこいほどの説明をしてもらいたい。アンケートだけでは分からないことだらけ。子ども・保護者が納得してないで後々トラブルになるでは指導されていく側も迷惑。佐久市の中学校の全部活を実際に見て子どもと保護者の意見を聞いて欲しい。

【④ 部活動は現状維持/休日の部活動不要】

- 保護者の送迎ができない家庭はやりたくてもできない生徒の方が多くなる。学校でやってくれたらありがたい。
- 部活動によっては、大会等に向けて休日に集中的に練習したい。団体で行うものは学校毎に行うべきだと思う。各学校に外部から指導者を入れるのではダメか？
- 環境を変化させたくなく、反対だ。

【⑤ 活動の方向付けについて】

- 勝ちたい子と楽しみたい子と分けてもらいたい。
- 同じスポーツでもやる気度合いに分けた複数のクラブがあればよい。
- 上を目指す子（家庭）は部活以外の活動をすれば良い。学校部活と地域活動の選択肢がある環境を維持出来るのが一番だ。選択肢が増え分散し、活動者数の問題もある。そういった多方面の問題が解決出来ない以上は無理に地域移行を行う必要はない。

【⑥ その他】

- 大人の都合でこの移行期にかぶってしまった子どもたちが一番可哀想。同じ中学に進む子が同じチームに流動的に入れるシステムになれば良いですが、個人に委ねるのは仲間がバラバラになってしまい可哀想。